

# 市民・施設等職員を主な対象とした「自閉症基礎講座」の実施

自閉症についての研修や講演は、全国各地で様々なものが開催されているが、全く知識を持たない人には理解が難しく、敷居が高いものである。また、施設等に勤務して、「当然知っているであろう自閉症」の事実は良く理解できておらず、いまさらながら聞くに聞けない状況があるのではなかろうかという私たちの法人の実情から、「自閉症基礎講座」をスタートさせた。「難しいことをわかりやすく」をコンセプトに、従来の専門用語が飛び交う研修ではなく、専門用語を市民の方にわかって頂けるよう、平易な言葉に噛み砕く作業から始めた。他の自閉症研修会ではカバーできていない「基礎の基礎」の研修の場を保障し続けている。

社会福祉法人 **大成会** 〒286-0122 千葉県成田市大清水206-1  
TEL : 0476-35-2536 / FAX : 0476-35-0157

## ◆ 法人の概要

法人設立年：昭和31年

経営施設、事業（数）：7施設

経営施設、事業（種別）：

知的障害児施設1、知的障害者通所更生施設1、知的障害者授産施設1（指定管理）、居宅介護事業所1、知的障害者グループホーム・ケアホーム1、指定相談支援事業所1、市町村相談支援事業所1（委託）

## ◆ 法人の理念・経営方針

私たちの理念

私たちはお約束します。（社会福祉法人大成会基本方針より）

人権の尊重と良質な福祉サービスの提供に努めます。

総合的な福祉サービスを提供します。

地域福祉を推進します。

将来を担う福祉人材を育成します。

## ◆ 実施施設の概要

施設名：法人主催

活動開始年：平成19年6月

活動の頻度・時間：年3回開催

活動の対象者：地域住民、学生、障害・高齢者・居宅支援事業者等の職員、保育所職員、幼稚園教員、学校教員等

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

自閉症についての研修や講演は、全国各地で様々なものが開催されている。しかし、そのどれもが「当然の知識」の上に立った研修であり、全く知識を持たない人には理解が難しく、敷居が高いものである。

また、施設等に勤務して、「当然知っているであろう自閉症」の事実は良く理解できておらず、いまさらながら聞くに聞けない状況があるのではなかろうかという私たちの法人の実情からスタートした。

「難しい事を難しく」という事は簡単であり、専門用語を駆使する事で、「わかったような気になってしまう」というのも私たち施設職員の悪い癖ではないだろうか。

「聞くは一時の恥。聞かぬは末代の恥。」ではないが、「知っていて当たり前」と考えられている事柄ほど、きちんとした教育・研修が出来ていないのではないかという反省があった。

そういった疑問・反省から、「難しいことをわかりやすく」をコンセプトに、従来の専門用語が飛び交う研修ではなく、専門用語を市民の方にわかって頂けるよう、平易な言葉に噛み砕く作業を始めたのである。

## 実施内容

講師は外部の先生をお招きするのではなく、日々現場で奮闘している現場の職員が務める。また、スタッフも法人の研修委員が企画から広報、当日の会場設営まで全て自前で行う。

そして、「研修会の為の作られた研修」になることを戒めて、日常私たちが現場で取り組んでいる実践と理論を組み合わせることを目的として、現場にもフィードバックできる研修会作りを意識している。

研修の内容は、大変基礎的なもので、私たちの日々の実践例を交えながら、ゆっくりとしたペースで、じっくりと進めていく。また、会場内には、「手作りの自立課題」を展示しており、100円ショップなどで入手可能な部品を使っての作

り方や、遊び方（自立課題の取り組み方）も実践に即してお伝えしている。

特徴的なことは、毎回研修内容を変えずに、同じ内容で繰り返しお伝えするということである。その理由は、①シリーズ物の場合、連続受講が必要になるが、勤務の都合上、毎回必ず参加できるとは限らないこと。②難しい事をわかりやすくお伝えするとしても、一度聞いただけでは理解しきれない事もあり、聞き漏らした場合にも繰り返し聞く事ができるように考えた。③他の自閉症研修会ではカバーできていない「基礎の基礎」の研修の場を保障し続ける。以上の理由から、年間同じ内容で研修会を繰り返し開催している。

## 活動効果

職員に対する影響であるが、施設はややもすると自己完結的な支援に終始してしまい、自分たちの支援内容を客観的に検証するという事に慣れていなかった。それが対外的な研修会を開催するようになったことで、自分たちの支援内容・支援姿勢を客観視する機会に恵まれることになり、従来よりも支援の質の向上に繋がってきていると考える。

対外的には、市民の皆様・行政の方々に認知して頂けるようになりつつあるということである。私たちの法人は、成田市内において知的な障害をお持ちの方の支援に長い間携わらせて頂いているが、対外的な働き掛けやPRがあまり上手ではなく、ご存知でない方がたくさんいらっしゃった。それがこの研修を開催するようになり、徐々にではあるが認知して頂けるようになってきたのではないかと思っている。自分たちの専門領域から情報発信したり提言を行うことは、自信と責任に裏打ちされていなければならない。それがまた、責任ある発言になり、市民の皆様にも耳を傾けていただけるのだと思う。

## 今後の課題

2年目を向かえ、通算5回の研修会を行ってきたが、基本コンセプトである「難しいことをわかりやすく」そして、「敢えて同内容の繰り返し」は、やはりマンネリに陥りやすく、新鮮感を欠くことになってしまった。

しかし、基本コンセプトは堅持しながらも、そこに新しい付加価値を付けていかなければ、どんなに理想が高くても、やがては飽きられてしまう。

初級コース・入門編の次に位置する研修内容を用意することも考えられるが、それは既に他の研修会が担ってくれている。「基礎の基礎」というこの研修会の存在理由を再検証した上で、新しい分野での受講生の開拓、「出前研修」の実施、そして当然ではあるが、内容の更なる充実を図っていく。

また、この研修会の開催で培った研修ノウハウを他の分野（例えば、施設の運営管理や施設会計）での研修会開催に広げたいと考えている。